

ようこそ安平町へ！！

岡山県西粟倉村 様  
北海道上川町 様



# 安平町 子育て・教育 概要説明

---

2022.2.22

発表者：安平町教育委員会 学校教育G 三上 泰明



# アジェンダ

---

## 0. 安平町の紹介

### 1. はやきた子ども園の取り組み

### 2. 安平町が推進する『子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)』ってなに??

### 3. 当町のCFCI実践事例

- └ あびら教育プランの導入

- └ 義務教育学校「早来学園(仮)」の建設



# アジェンダ

---

## 0. 安平町の紹介

1. はやきた子ども園の取り組み

2. 安平町が推進する『子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)』ってなに??

3. 当町のCFCI実践事例

- ㊦ あびら教育プランの導入

- ㊦ 義務教育学校「早来学園(仮)」の建設

# 0. 安平(あびら)町の紹介

安平町ってどこ?  
どんなところ?

平成18年3月27日合併

安平町

旧追分町



旧早来町

安平町の人口

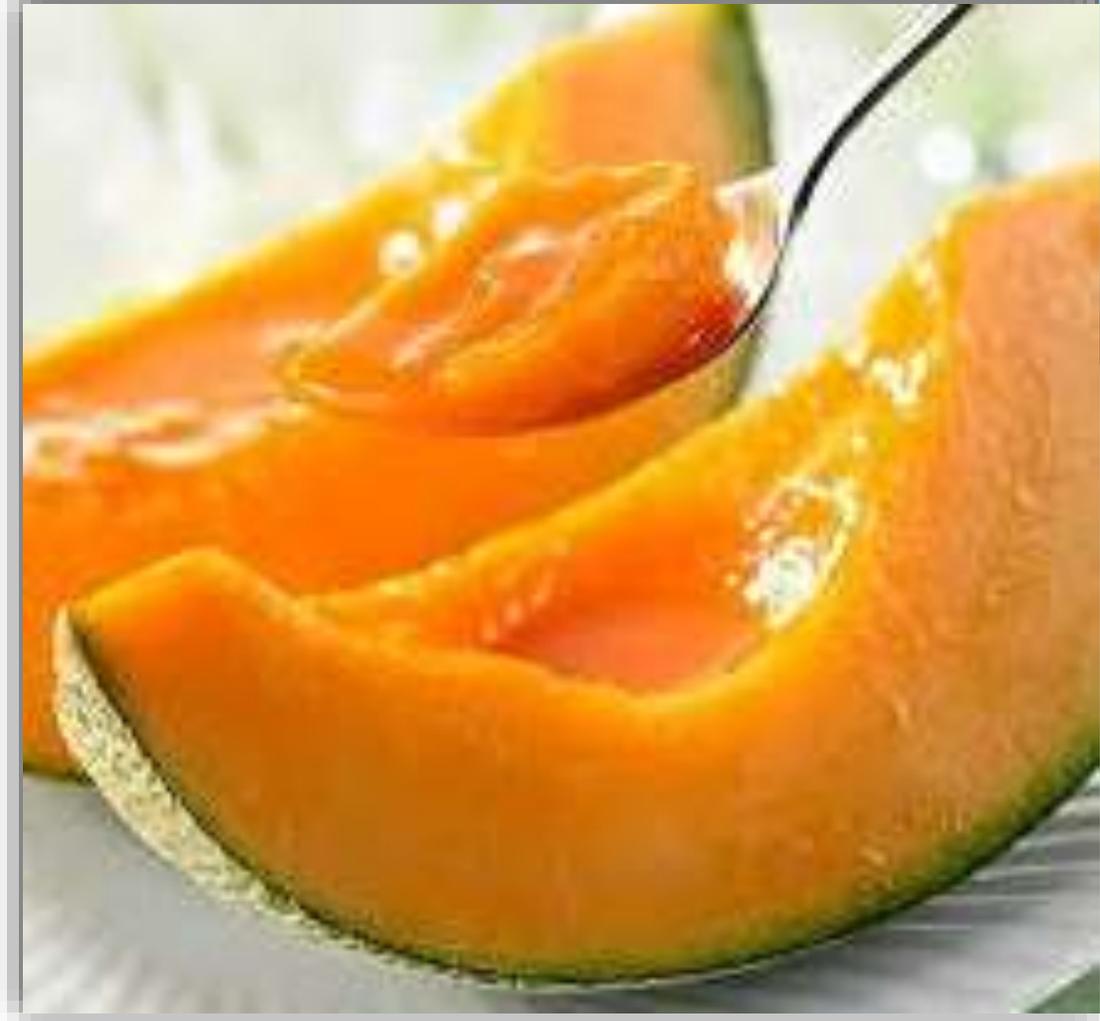
男性	3,647人
女性	3,731人
合計	7,368人
世帯	3,932戸

(1月末日現在)



# 0. 安平(あびら)町の紹介

安平町ってどこ？  
どんなところ？





# アジェンダ

---

0. 安平町の紹介

1. はやきた子ども園の取り組み

2. 安平町が推進する『子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)』ってなに??

3. 当町のCFCI実践事例

- └ あびら教育プランの導入

- └ 義務教育学校「早来学園(仮)」の建設



# 1. はやきた子ども園の取り組み

---

H22年4月

幼保連携型認定こども園 安平町立はやきた子ども園 誕生  
～ 早来地区へき地保育所三園の統合

H28年4月

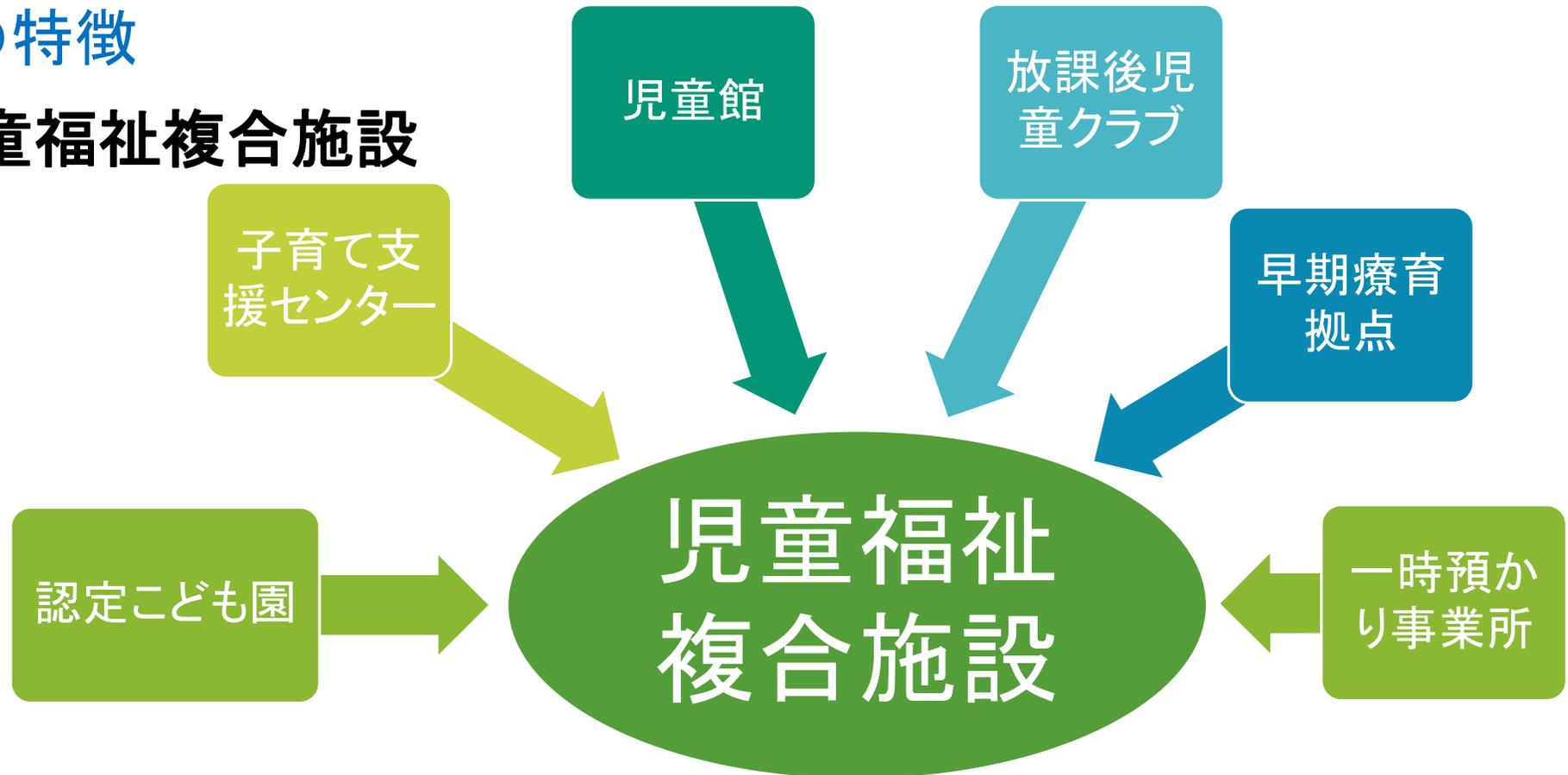
学校法人リズム学園を公私連携法人に指定 = 民営化



# 1. はやきた子ども園の取り組み

## ③同園の特徴

### (1) 児童福祉複合施設





# 1. はやきた子ども園の取り組み

---

## ③同園の特徴

(2) 学校運営協議会(コミュニティ・スクールCS)の設置

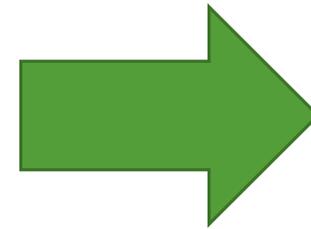
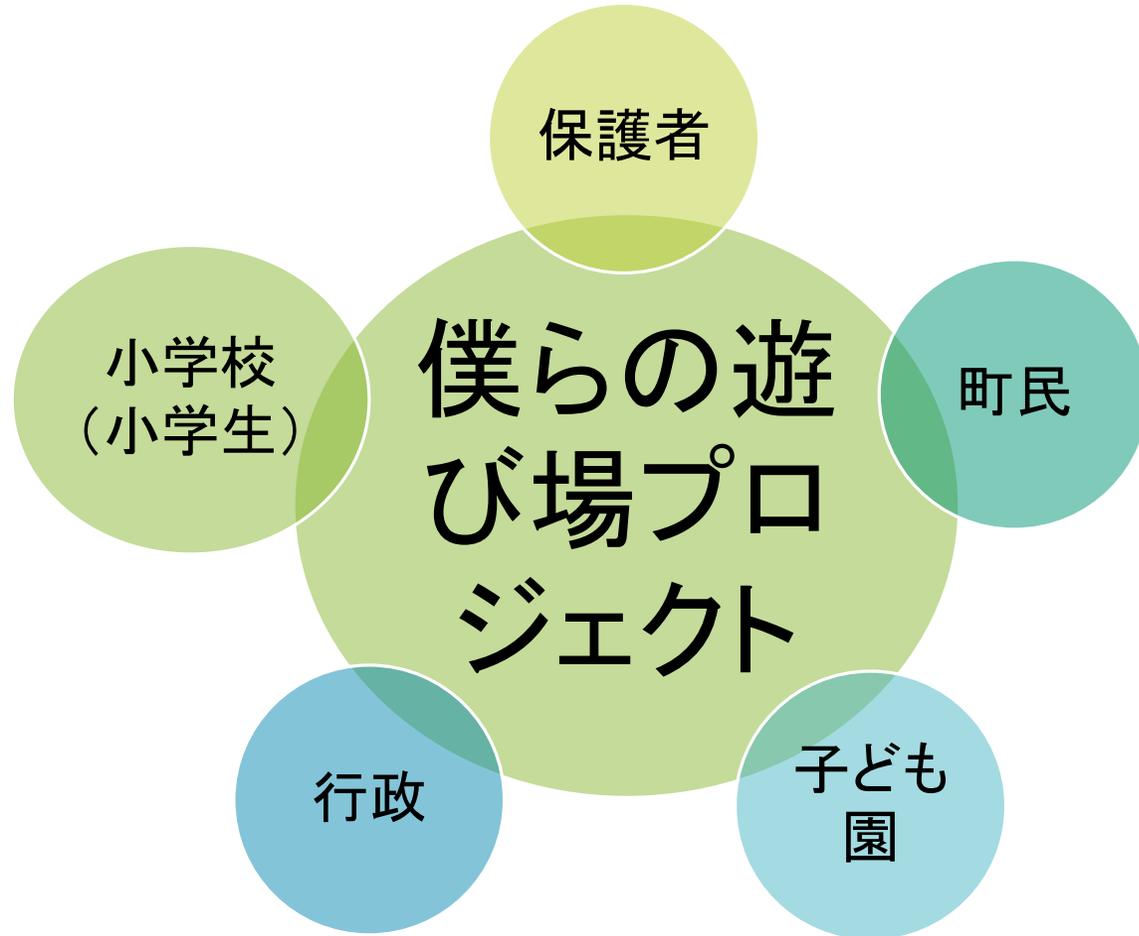
～ **町の独自条例** で私立認定こども園を指定

(3) 保育料(保護者負担額)を **“半額”**

～ 国の定める基準額の半額とし、保護者の経済支援と就労支援



# 1. はやきた子ども園の取り組み



- 〔活動内容〕
- ・園庭づくり
  - ・園庭“外”の遊び場づくり



# 1. はやきた子ども園の取り組み



- ・総合的な学習の時間の活用
- ・早来小学校6年生の園庭での活動



アクティブラーニング



# 1. はやきた子ども園の取り組み

屋外の“こどもの世界”再構築



認知能力 + **非認知能力**の向上



『生きる力』の体得 = **安平町の力**



# 1. はやきた子ども園の取り組み

安平町が目指すまちづくり



『将来にわたって子ども達の声が  
地域に響き、若者・子育て世代で賑わうまち』



子ども達の **遊び** に力を入れる！



# アジェンダ

---

0. 安平町の紹介

1. はやきた子ども園の取り組み

2. 安平町が推進する『子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)』ってなに??

3. 当町のCFCI実践事例

└ あびら教育プランの導入

└ 義務教育学校「早来学園(仮)」の建設

## 2. 『子どもにやさしいまちづくり事業 (CFCI)』ってなに??



### こども環境学会2017大会（北海道）

日本ユニセフ協会さん  
と出会うきっかけ

■日程：2017年5月26日（金）～28日（日）

■会場：北海道文教大学

（〒061-1449 北海道恵庭市黄金中央5丁目196番地の1）

■大会テーマ：「遊びで育つ子どもたち」





## 2. CFCI ってなに??

### CFCモデル検証作業の委嘱

2018年10月29日から2年間

ニセコ町・富谷市・町田市・奈良市  
とともに5団体がCFCモデル検証作  
業の委嘱を受けました。



### CFCI実践自治体の承認

2022年12月17日から3年間

ニセコ町・富谷市・町田市・奈良市  
とともに5団体が日本初の実践自治体へ！



## 2. CFCI ってなに??

---

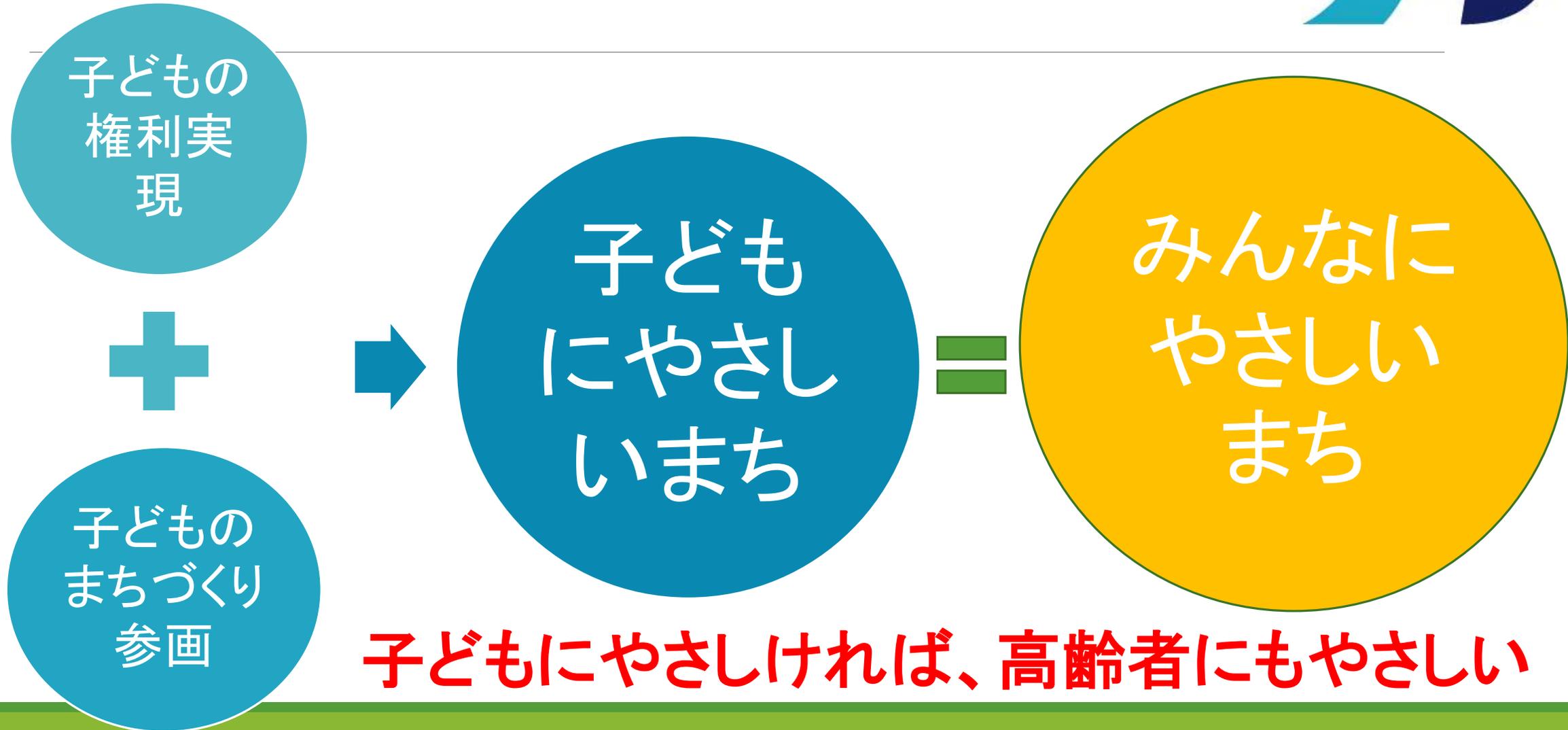
**C** hild  
**F** riendly  
**C** ities  
**I** nitiative

} こどもにやさしいまち

→ づくり事業



## 2. CFCI ってなに??



**子どもにやさしければ、高齢者にもやさしい**



## 2. CFCI ってなに???

---

子どももお年寄りも、

**誰一人取り残さない！**

**安平町役場の全ての部署で協力しよう！**



## 2. CFCI ってなに??

**BEST**

子どもの意見を聞いて施策を立案、実行していくこと

**BETTER**

子どもの意見を聞けなくても、子どもの気持ちを想像して日々の仕事をする事

**MUST**

すべての分野(部署)で実践すること

これらを安平町の職員や学校の先生方に呼び掛けています。



## 2. CFCI ってなに???

---

### まとめると・・・

- ・子どもの権利条約(児童福祉法)を具現化する活動
- ・子どもと最も距離の近い市町村単位の取組み
- ・子どもをまちづくりの主体者として位置づけ
  - 有権者(大人)だけが主体者ではない。



# アジェンダ

---

0. 安平町の紹介

1. はやきた子ども園の取り組み

2. 安平町が推進する『子どもにやさしいまちづくり事業(CFCI)』ってなに??

3. 当町のCFCI実践事例

- ㊦ あびら教育プランの導入

- ㊦ 義務教育学校「早来学園(仮)」の建設



### 3. CFCI 実践事例

安平町の(CFC)モデル構成要素10項目(独自目標)

『**遊び**を通じた震災からの  
復旧・復興と、復興のシンボル  
となる**学校再建**への着実な歩み』

# 3. 実践事例① あびら教育プラン



## ①あびら教育プラン



遊育推進事業

学びサポート事業

町民チャレンジ応援事業



# 3. 実践事例① あびら教育プラン

## ○遊育推進事業



### 3. 実践事例① あびら教育プラン



## アソビカイギ



①無からアソビを  
生み出す



②やってみたい  
をカタチに



③プロジェクト  
を考える

# 3. 実践事例① あびら教育プラン



## ○学びサポート事業



# 3. 実践事例① あびら教育プラン



## ○町民チャレンジ応援事業

遊育のアソビカイギから生まれたプロジェクト



大きな絵を描いてみたい！  
絵だからこそできる世界を表現し、  
みんなに絵の可能性を感じ、  
絵を好きになって欲しい！

2月6日にABIRA TALKS



# 【遊育事業の着想】

## 現状

---

### ①子どもの遊び環境 (平日)

母親の就業率向上により、特に早来小学校においては、児童の50%以上が放課後児童クラブに登録している。

= 児童館へ行かないと友達と遊べない状況

### (休日)

過日、遊び場ネットワークが明らかにしたアンケート結果によれば、殆どの児童がゲームをして過ごしている。



**外で遊べる環境が提供できていない実態**

# 現状

---

## ②子どもの遊び場(フィールド)

(平日)

放課後を過ごす居場所は、殆どが児童館又は自宅、習い事等である。

(休日)

外で遊んだとしても、せいぜい公園や家の周りで過ごす程度



**遊び場として外が選択されにくい状況  
選択されたとしても極めて限定的な範囲**

# 課題

---

①『子どもの育ち』を促すにはどうしたらいいのか？

⇒ **外遊びの重要性**

②外遊びを増やすためにはどうしたらいいのか？

⇒ **安心して遊べるフィールドの確保**

# 課題に対するアプローチ

---

- ①『子どもの育ち』を促すにはどうしたらいいのか？
- ②外遊びを増やすためにはどうしたらいいのか？

## 【本町のプロセス】

『遊び』＝保育の質の向上に重点を置き、これを支援できる民間法人（**公私連携法人**）を選定し子ども園及び児童館を民営化を実現



『遊び』の中心拠点を外に意識し、民営化と共に園庭改造を実施



**次は、園庭の外に活動フィールドを広げたい。**

# 課題に対するアプローチ②

- ①『子どもの育ち』を促すにはどうしたらいいのか？
- ②外遊びを増やすためにはどうしたらいいのか？

## 【公私連携法人のプロセス】

保育の質の向上（支援者視点）と非認知スキルの向上（子ども視点）に重点を置き、子ども園及び児童館の主体的運営を実現



『遊び』の拠点を園庭のみに限定せず、地域におけるあらゆる場所へ広げようと「子どもの遊び場づくりネットワーク」や「遊び場oh!援隊」が立ち上がる。



**リズム学園では園付近に森を取得。新たな遊び拠点へ**

# 当該事業の必要性（理由）

---

## ①支援を必要とする訳（各計画との関連から）

### ・総合計画との関連

#### 基本計画基本施策2(1)

「認定こども園を拠点とした特色ある就学前教育の充実」

### <これまでの展開>

園庭整備に係る間接的（財政的）支援を実施

### <新たな展開>

園と連携し、園外での『遊び』に着目した場所と機会の確保

# 当該事業の必要性(理由)

---

## ②支援を必要とする訳(各計画との関連から)

・子ども・子育て支援事業計画との関連

基本目標2(3)「子どもの居場所づくり」

### <これまでの展開>

放課後児童クラブ・児童館・放課後子ども教室等の開設による支援  
(ハード的側面)

### <新たな展開>

上記と連携し、園外での『遊び』に着目した場所と機会の確保

# 当該事業の必要性(理由)

---

## ③支援を必要とする訳(各計画との関連から)

・子ども・子育て支援事業計画との関連

基本目標1(3)「生きる力を育む教育」

### <これまでの展開>

民営化等による保育・教育の質の向上への間接的(財政的)支援

### <新たな展開>

就学児全般(一般児童)の『遊び』に着目した場所と機会の確保

# 当該事業の必要性（理由）

---

## ④支援を必要とする訳（各計画との関連から）

- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略との関連

8具体的な施策②子育て(1)「子育て支援施設の整備促進と充実」

### <これまでの展開>

追分庁舎改築等ハード面の整備

### <新たな展開>

子育て支援施設のサテライト的拠点としての外遊びフィールドの確保

# 本事業の期待役割と企図

---

## ①CFCIを念頭においた子ども参画

### [背景]

- ・30.10.29日本ユニセフより委嘱(全国自治体中5団体)
- ・CFCIは、子どもの権利を尊重した「こどもにやさしいまちづくり」事業である。

### [期待役割・事業企図]

- ・このことから、**子ども参画による事業**の実施に期待
- ・CFCIの推進に当たり、**積極的なPR(情報発信)**に期待

# 本事業の期待役割と企図

---

## ②遊び(遊育)支援

[背景]

各計画にもあるように、本町では子育て支援の根幹に『遊び』を位置づけている。

[期待役割・事業企図]

**プレーパーク等**の設置を視野に入れた活動

# 本事業の期待役割と企図

---

## ③園庭外活動フィールドの開拓支援

[背景]

追分地区は、現状固定化した外遊びフィールドが乏しい。

[期待役割・事業企図]

- ・新たな活動拠点の開拓(適地選定等)支援
- ・既存の自然環境を活用した外遊び支援

# 委託事業ドメインの明確化

外遊び

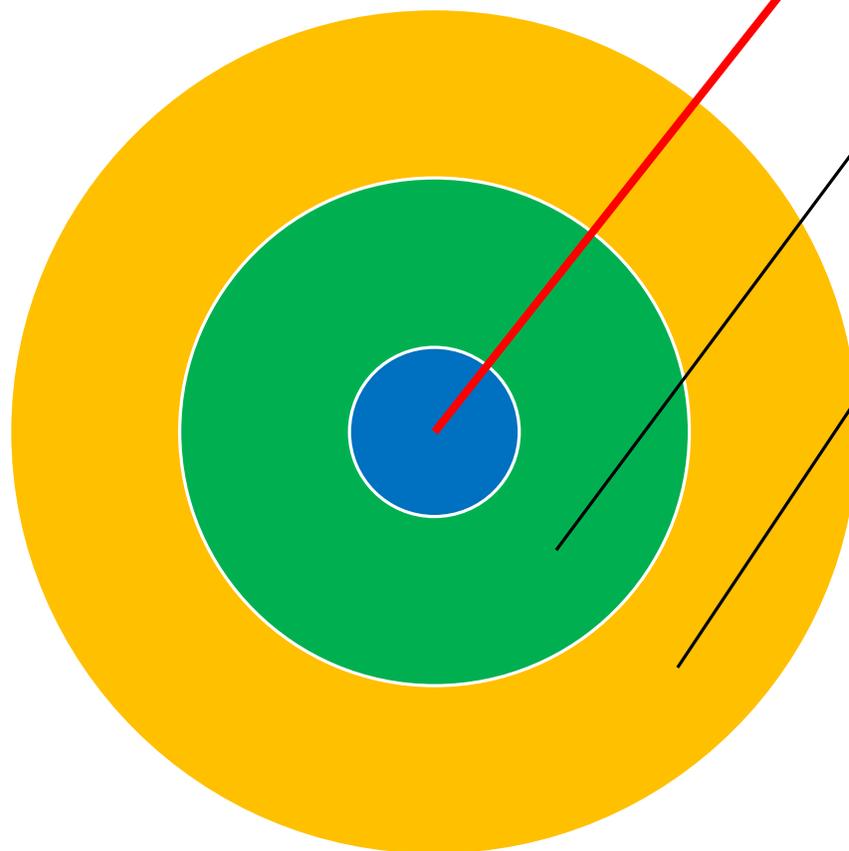
↑本事業ドメイン

遊び全般

↑本町の力点(重点施策)としての位置付け

CFCI

↑子育て支援の基本理念としての位置付け  
※子どもの人権と子ども参画



# 事業委託条件の設定

---

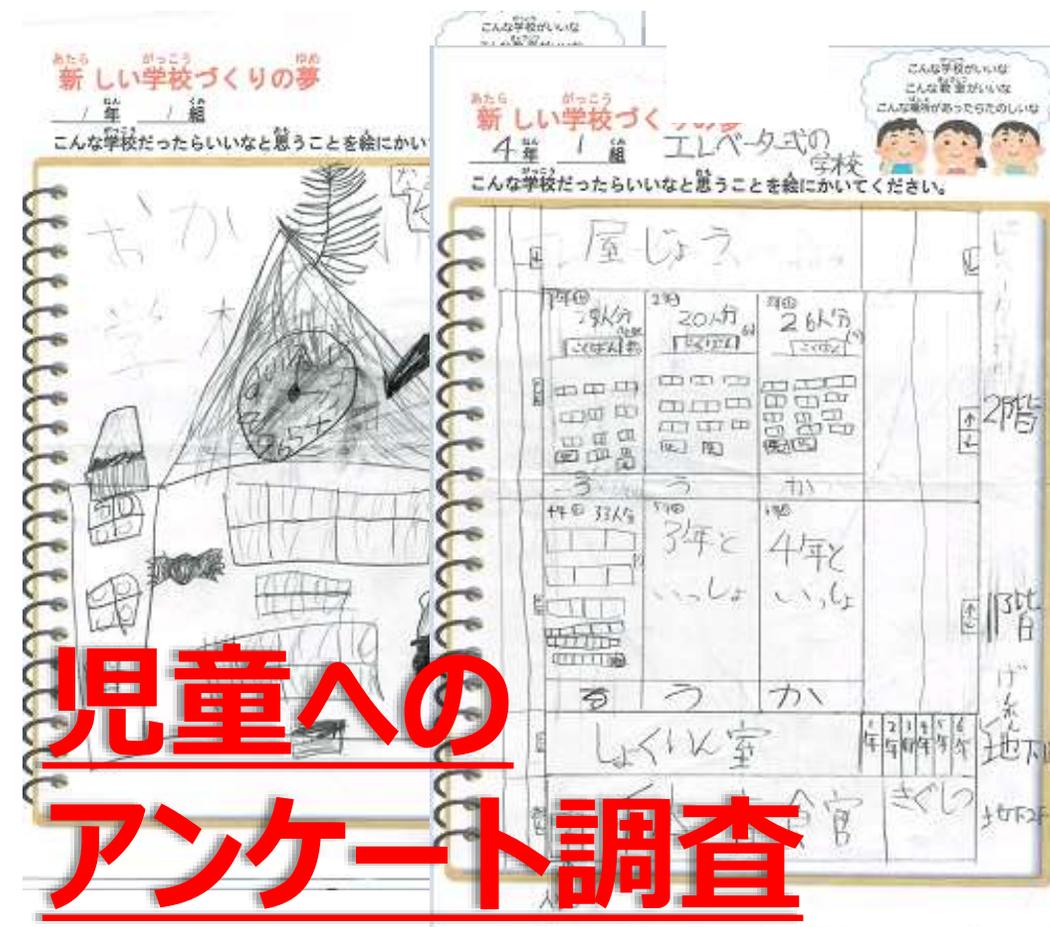
- ・事業の企画立案から実施までを行うこと
- ・町内のフィールドを活用すること
- ・基本理念であるCFCIを念頭に、子ども参画を促進させること
- ・児童及び保護者の安心・安全を確保すること
  - ※安心・安全の解釈 = 命の保証と不審者等脅威からの保護
- ・対外的イベントの実施を一定程度行うこと
  - ※本町の特色ある子育て支援=CFCIのPRコンテンツとして意識



### 3. 実践事例② 学校再建



**児童の会議参画**



### 3. 実践事例② 学校再建



# 北海道で唯一 校舎を持っていない生徒がいる

体育館がない、グラウンドがない、図書室がない、  
体育祭ができない、学校祭ができない、入学式／卒業式ができない



学校が出来るまで  
復旧は終わらない

ピンチをチャンスに

元に戻すだけでなく  
前より良い学校をつくる

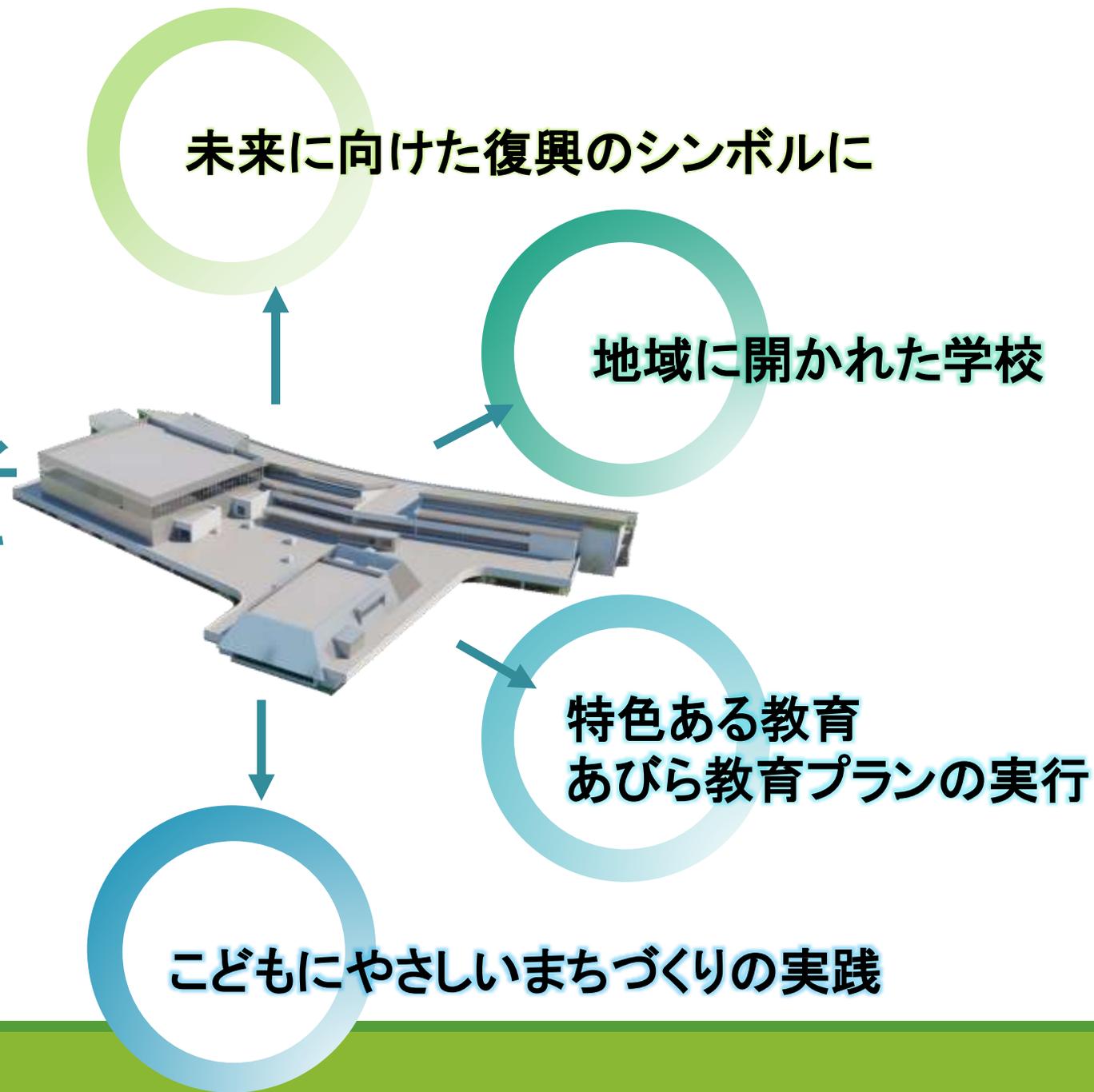
シンボル

『復興の象徴へ』

令和4年10月完成予定

# 学校再建に向けて

学校再建と特色ある取組みを連動させ、魅力ある子育て・教育の町を目指していきます。



# 早来中学校の校舎が使えない



- 案1) 同じ場所に改修か建替える? ⇒ 地盤に大きな被害がでた
- 案2) 別の場所に建てる? ⇒ 市街地に広い町有地がない
- 案3) 小学校隣に建替える? ⇒ 小学校グラウンドがなくなる



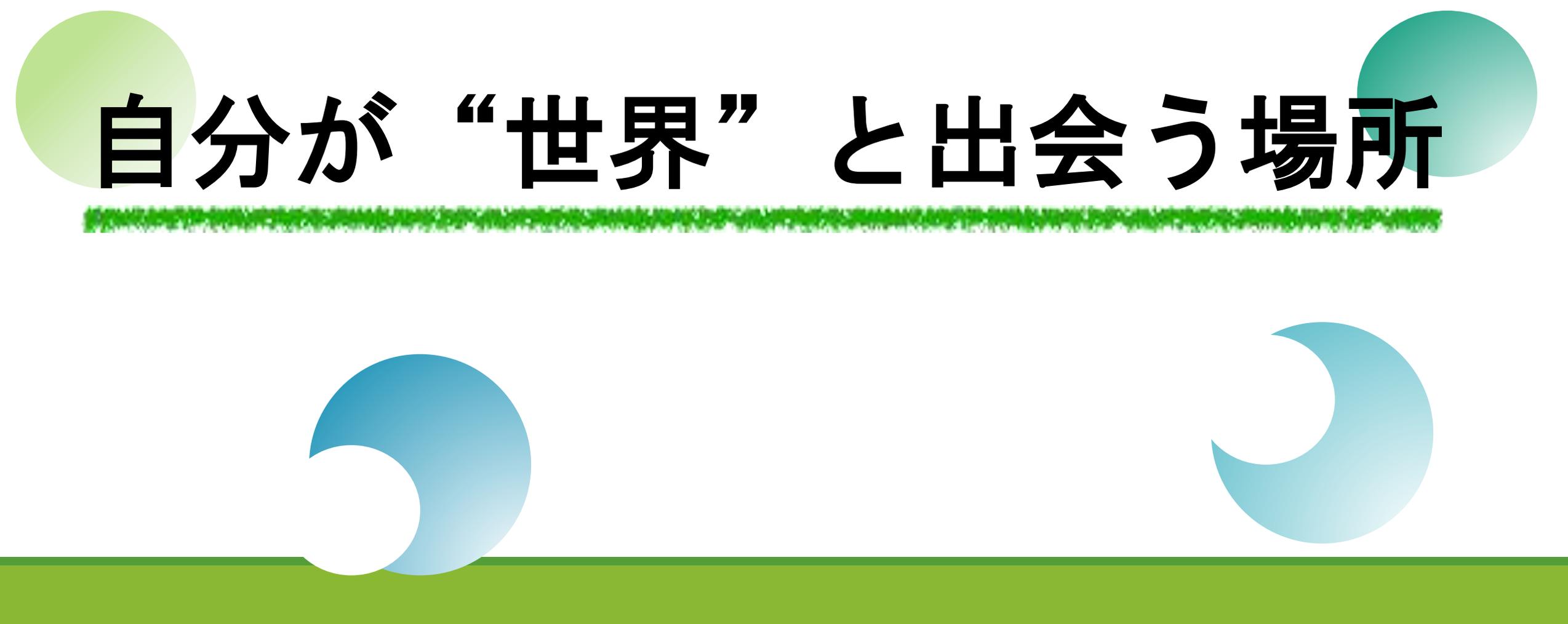
小学校隣地を取得し、老朽化する早来小学校と一体校舎新築



早来中学校 × 早来小学校  
= 義務教育学校

新しい学校 コンセプト

自分が“世界”と出会う場所



## 新しい学校コンセプト

安平町の  
「自然」「地域」「文化」「人」に触れ、支え、  
支えられる中で、  
学校を通して  
「スポーツ」「テクノロジー」や  
「異年齢、多世代」の人達、  
たくさんの「本物」と出会い、  
さらに  
「色々な考え」「多様な価値観」「多くの学  
び」  
「夢」とも出会い、  
“世界”に生き、  
“世界”へと羽ばたいていく

## 自分が“世界”と出会う場所



自然

地域

文化

人

## 教育環境計画の専門家集団

# 強力なチーム体制

## 学校教育と社会教育の融合

岩手県陸前高田市立気仙小学校  
 東京都板橋区立板橋第一小学校  
 板橋区立中台中学校、赤塚第二中学校  
 京都府同志社小学校・中学校高等学校  
 広島県立広島叡智学園中学校高等学校



教育環境計画

安平町

コミュニティ・スクールの先進自治体  
 幼稚園から高校までC.Sを設置  
 社会教育主事配置の充実  
 新しい教育スタイルの展開  
 (遊育ーあびらぼーカイトク)



## アトリエ系の建築設計

東川小学校  
 東川町地域交流センター  
 二部谷アイヌ文化博物館  
 弟子屈中学校  
 黒松内中学校 (エコ改修)  
 札幌市立資生館小学校



### アトリエブンク

建築設計

安平町



### teamLab (チームラボ)

ICT環境設計

## ウルトラテクノロジスト集団

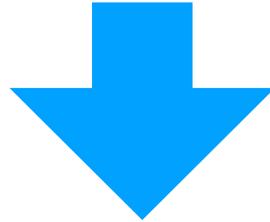
チームラボボーダレス (アート)  
 武雄市役所 (建築)  
 全日空システム (システム)  
 ※アーティスト、プログラマー、デザイナー、数学者、建築家などで構成されるスペシャリスト集団



新しい学校のコンセプト

## 自分が“世界”と出会う場所

学校を通して「夢」「本物」「地域」「社会」と出会う



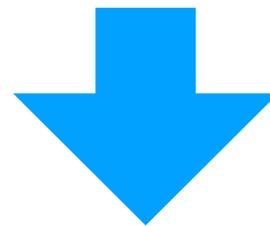
## 地域と学校を分けない

自らの頭で考え、  
仲間と協力し、  
最適解を見だし、  
地域や社会のために  
行動を起こす。

安平町生涯学習計画の重点

## 子ども主体・子どもの社会参画を軸とした学校

子どもを子ども扱いせず  
地域の一員として  
共に社会を生きる学校。

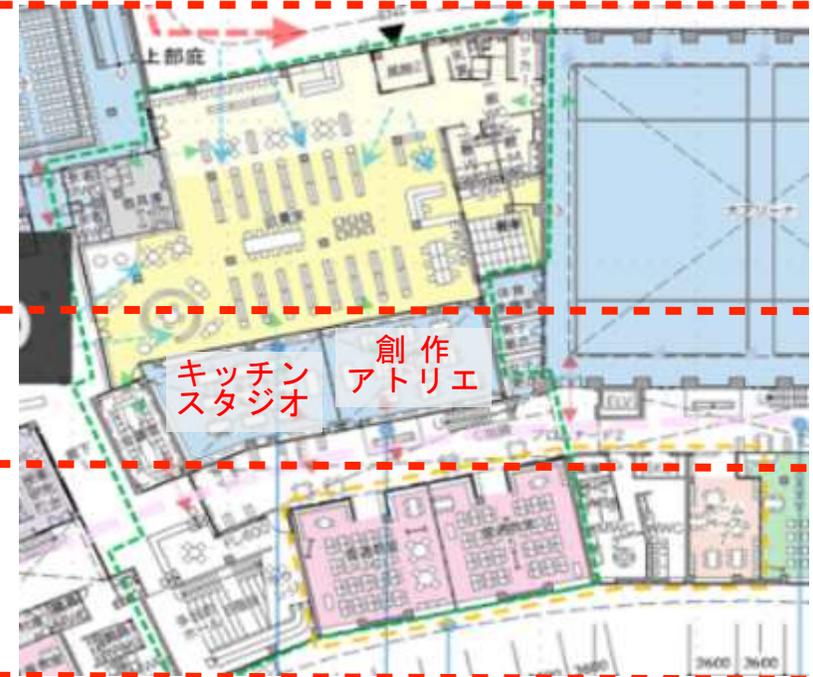


## 地域や社会課題をテーマにした学習の実現を目指す！

図書室  
(地域開放)

特別教室  
(地域開放)

普通教室  
教科教室



※教科専用教室を配置(英語室、数学室、社会室、国語室、理科室)

# 新しい学びに最適化された教育環境



IEE × Atelier BNK × チームラボによる共創空間デザイン

- 黒板はなくホワイトボードとプロジェクター（電子黒板）
- 一般的な学校の約2倍ある広さの普通教室と教科教室
- 学年によってデザインの異なる教室内空間（9年間の旅）
- 新しい学びに適応した学校家具
- アナログとデジタルが融合した学習環境（ICT活用と自然体験）

- 教員一人一台iPhone所有（生徒はiPad）
- 校務支援システム導入による教員の業務軽減
- 学校の施設開放はスマホから予約  
（音楽室、キッチン、アトリエ、アリーナ等を開放）

**安平町の未来（復興）は、  
教育がつくる。教育でつくる。**

スマートスクール実現に必須となる  
教室予約サイト





## おわりに・・・

---

- ・CFCIの取組みは、安平町独自のもの  
で終わってはいけません。
- ・日本全土に広がっていく必要があります。
- ・この動きがSDGsを達成し、持続可能  
な地域社会を形づくると考えます。

ありがとうございました！

